

令和6年1月

板橋区立中学校

「部活動地域移行に関する説明会」



板橋区教育委員会



本日はお忙しい中、板橋区立中学校における「部活動地域移行に関する説明会」にご参加いただきまして、ありがとうございます。

また、事前アンケートのご協力につきましても、ありがとうございました。

アンケートの結果としましては、今後の方向性と令和6年度の取組について知りたいという声が多くありました。

本日はそのあたりを中心にご説明させていただきます。

本日のスケジュール

- 1 あいさつ
- 2 部活動改革について
- 3 いたばし地域クラブについて
- 4 質疑・応答

本日の説明会のスケジュールにつきましては、ご覧のとおりです。

それでは、はじめに教育総務課長よりごあいさつさせていただきます。

部活動改革について



次に、「部活動改革について」です。

部活動の地域移行につきましては、皆様もニュースなどで聞かれたことがあるかと思います。

学校部活動には、従来から様々な課題がある中、国を中心に平成30年度ごろから部活動改革について議論が進められてきたという経緯があります。

学校部活動の教育的意義

異年齢の交流

人間関係の構築

自己肯定感

学習意欲

責任感

連帯感

などなど

現行の中学校部活動には、皆様もご存知のとおり、異年齢の交流、自己肯定感の向上など、様々な教育的意義や学校運営上の効果があります。

教育委員会事務局としましても、この部活動を続けていけるのであれば、継続していきたいという思いはございますが、現在、その部活動が持続可能性の面で厳しい状況に置かれ始めたことが、部活動改革に取り組むきっかけとなっております。

持続可能性の低下

少子化

専門性や意思に関わらず教員が顧問を務める
これまでの指導体制

持続可能性の低下

中学校部活動の持続可能性が危ぶまれてきた要因のひとつは、少子化の影響です。

板橋区では近年、生徒数は横ばいで推移しており、少子化の影響はあまり感じられないかもしれません。

しかし、一部の学校では小規模化し、団体競技などでチーム編成ができず、単一校で大会に参加できないなどの部活動の停滞が起きています。

もう一つの要因は、専門性や意思に関わらず教員が顧問を務めるこれまでの指導体制です。主に業務時間外に行われる平日の部活動や休日の大会引率などは、教員にとって過大な心身と業務への負担となっている実態があります。

国・東京都・板橋区のガイドライン等

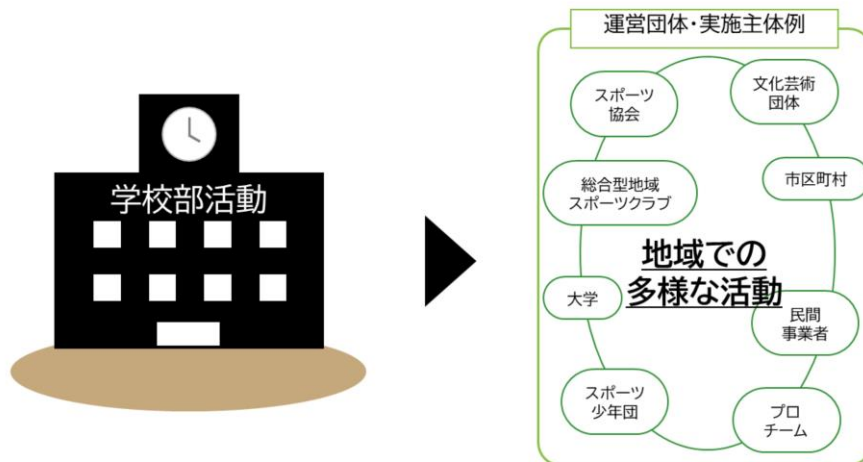
平成30年 3月 平成30年12月	スポーツ庁 文化庁	「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」
令和 2年 9月	スポーツ庁	「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」
令和 3年10月 令和 4年 2月	スポーツ庁 文化庁	「運動部活動の地域移行に関する検討会議」設置 「文化部活動の地域移行に関する検討会議」設置
令和 4年 6月 令和 4年 8月	スポーツ庁 文化庁	「運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言」 「文化部活動の地域移行に関する検討会議 提言」
令和 4年12月	スポーツ庁 文化庁	「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」
令和 5年 3月	東京都	「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」 「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」
令和 6年 3月	板橋区	「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」

このような社会の流れを受けて、スポーツ庁と文化庁で、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定されたことが部活動改革の大きな転機となりました。

令和5年3月には、東京都においても推進計画等が策定され、今年度、板橋区においても「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」の計画策定に着手しております。

令和6年3月の策定をめざし作業を進めており、策定途中の素案につきましては、ホームページでご確認いただくこともできます。

部活動の地域移行とは…



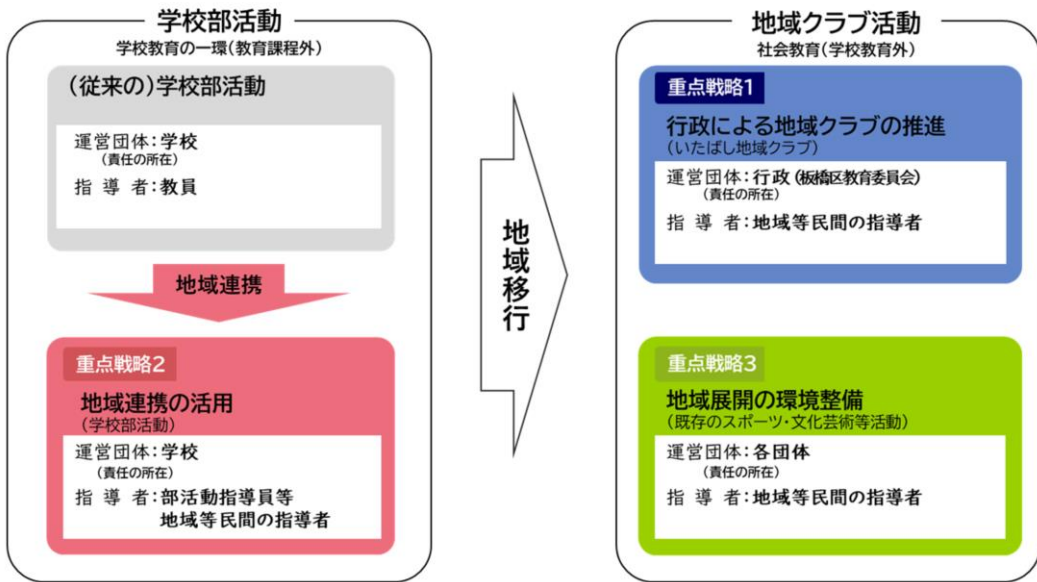
次に、「部活動の地域移行」とは何かというお話です。

まず、部活動の地域移行でいう“地域”についてですが、一般的には“地域”というと、町会や自治会などの地域の顔なじみの人をイメージされるかと思います。

部活動の地域移行の“地域”は、このスライドの右側にもありますとおり、学校以外の団体等を指すと捉えていただければと思います。この中には地方公共団体も含まれています。

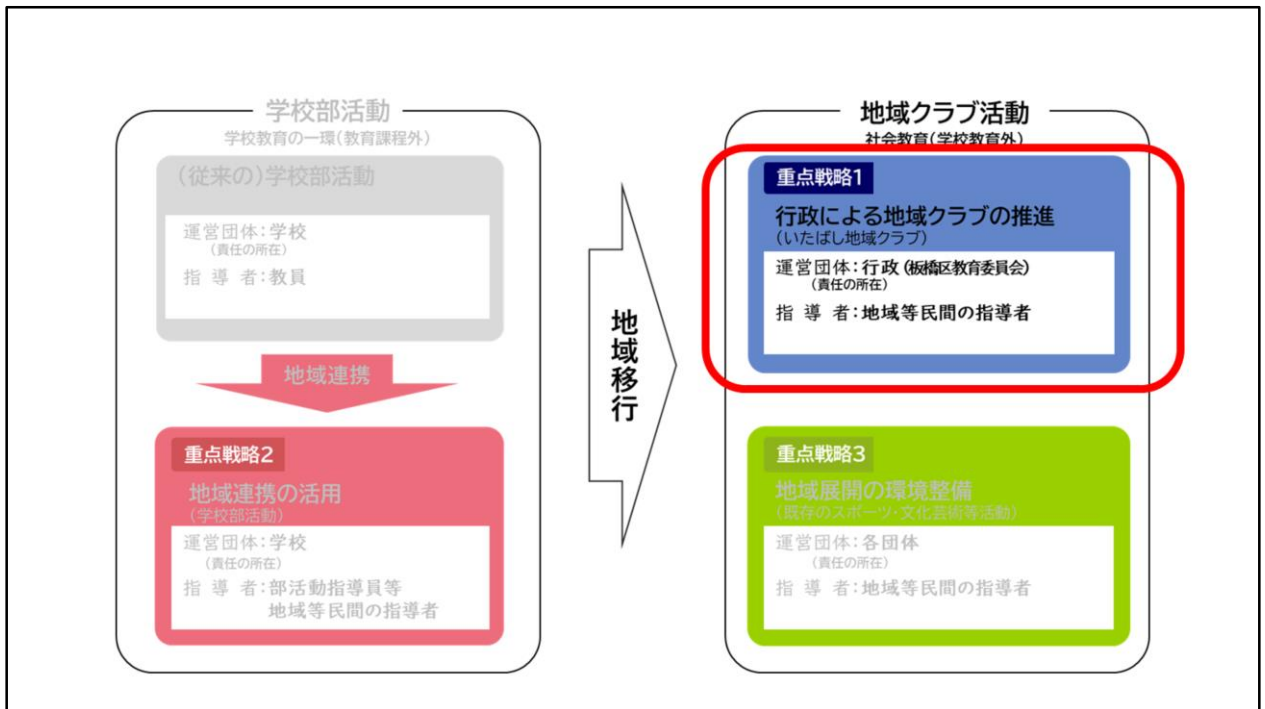
部活動の地域移行とは、学校以外の様々な団体などが運営団体・実施主体となっていくことを示しております。

部活動改革の類型



次に、部活動改革の類型についてです。

スライド左側が現在の学校で行われている部活動の枠であり、中央矢印の「地域移行」をすることで、学校部活動から右側の地域クラブ活動へ移行していくことを示しています。



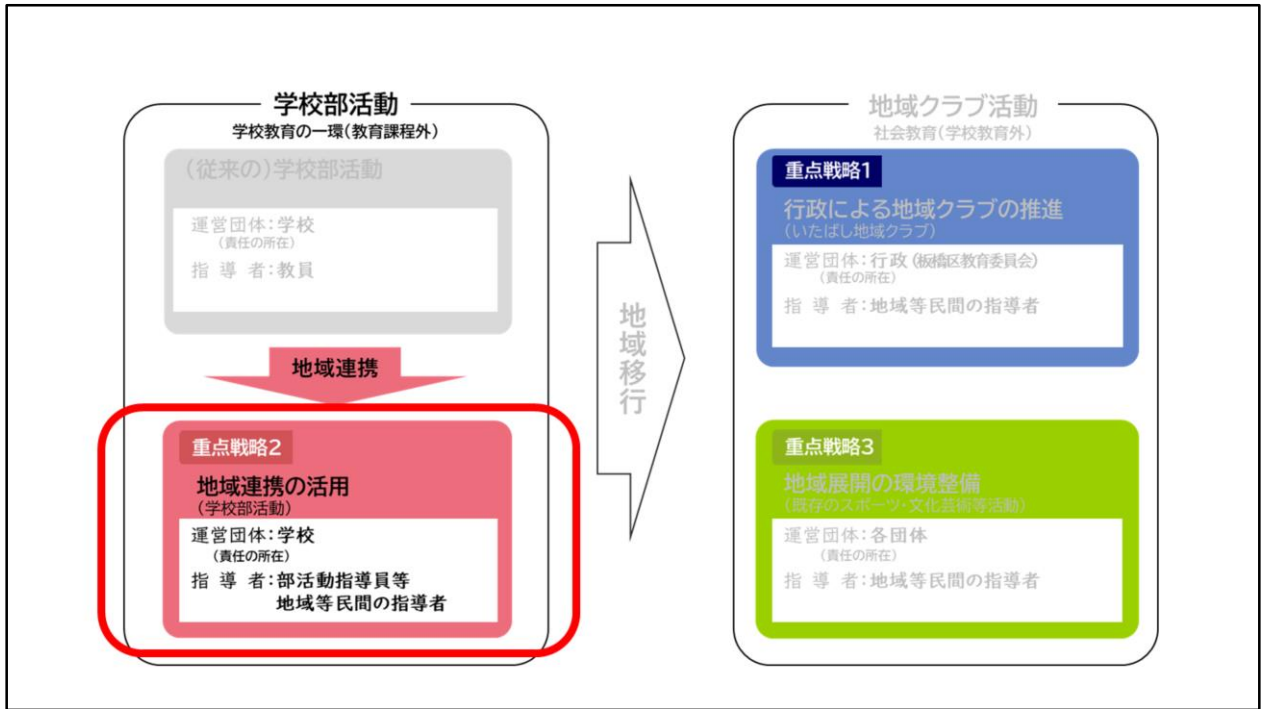
3つの改革類型を1つずつご説明いたします。

まずは、表の右上、重点戦略1「行政による地域クラブの推進」です。

板橋区では、重点戦略1として行政が運営団体となって、いたばし地域クラブを運営します。

こちらの活動状況等は、のちほどご紹介いたします。

学校単位から脱却することで、在籍校に左右されずに種目・分野を選択できたり、より専門性の高い指導を受けることが可能になったりする場合があります。



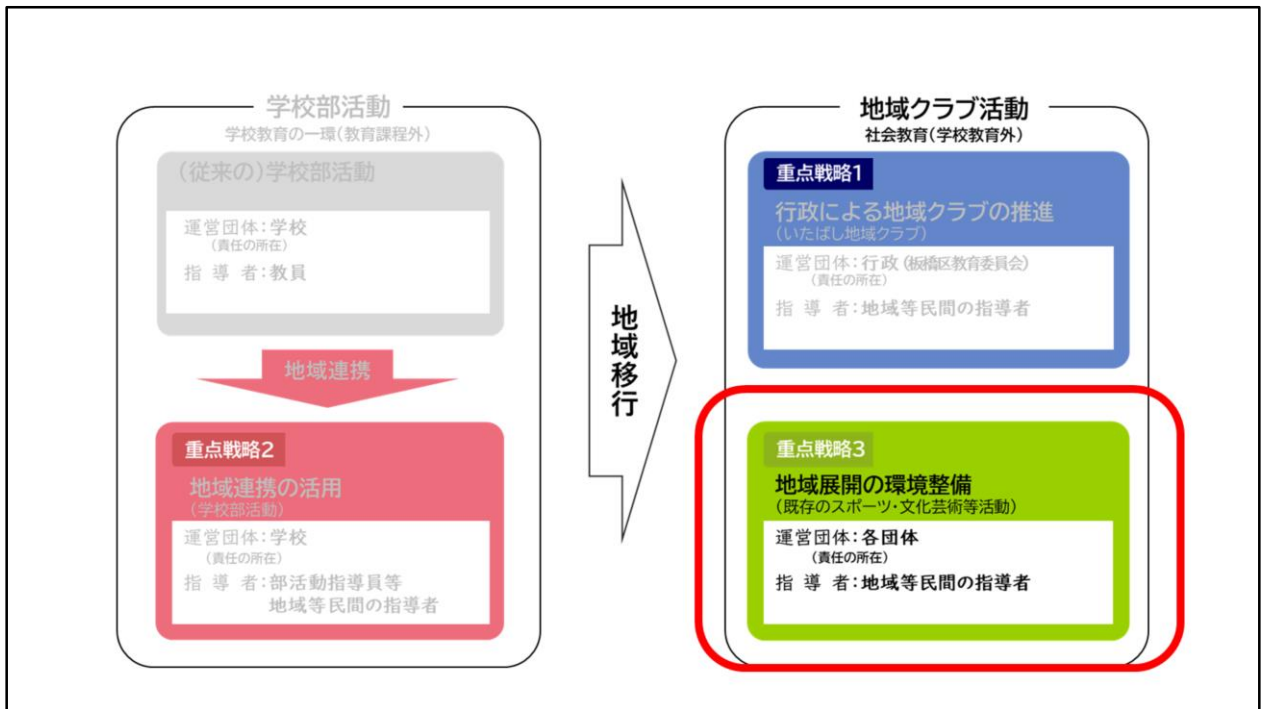
続きまして、図の左下にあります、重点戦略2「地域連携の活用」です。

こちらは学校部活動内での取組みで、現行の部活動との違いは、指導者が教員から外部の人材にかわることです。

教員が部活動の指導をしなくなることで、一定の負担軽減につながります。また、生徒にとっても専門的な指導を受けられるようになるといった効果があります。

一方で、部活動指導員のみで全ての部活動業務を行うことは難しく、一定の業務は教員に残ってしまいます。

しかし、地域移行を推進していく過渡期においては、有効な手段となると考えております。



最後に、図の右下にあります重点戦略3「地域展開の環境整備」です。

板橋区では、地域移行の中でも、民間のスポーツ・文化芸術団体等が実施する民間のクラブ活動へ移行することを地域展開と呼ぶことで、整理しております。

全ての部活動を行政が運営団体となるいたばし地域クラブで実施することは、財政面や運営面においても難しいところがあります。

民間の地域クラブ活動に中学生を受け入れてもらうことで、生涯スポーツ社会・生涯学習社会の進展にもつながると考えています。

重点戦略と取組

重点戦略 1

行政による地域クラブの推進

- 取組 1 いたばし地域クラブの本格実施
- 取組 2 指導者人材の発掘と確保
- 取組 3 希望する教員の兼職兼業制度の導入

重点戦略 2

地域連携の活用

- 取組 1 部活動を支援する外部人材活用
- 取組 2 学校現場の意識改革
- 取組 3 合同部活動の促進

重点戦略 3

地域展開の環境整備

- 取組 1 部活動地域移行シンポジウムの開催
- 取組 2 デジタルガイドブックの発行
- 取組 3 受皿となる団体の認証制度の検討

共通項目

- 取組 1 国・東京都への働きかけ
- 取組 2 地域人材を活用した地域移行への
枠組みの検討

次に、その3つの重点戦略と共通項目の具体的な取組みについて説明いたします。

国は令和5年度から令和7年度までを改革推進期間として定めており、令和8年度以降はまだ明確な定めを示していない状況でもあります。

そのため、令和6年度から令和7年度までの2年間で板橋区が取り組んでいく主な内容となります。

重点戦略 1

行政による地域クラブの推進

取組 1 いたばし地域クラブの本格実施

- ① 新たな個別クラブの設置（学校部活動にある種目・分野の個別クラブ開設）
- ② 既存の個別クラブの拡大検討
- ③ いたばし地域クラブ啓発のための新たな取組の内容検討・実施

取組 2 指導者人材の発掘と確保

- ① 指導者研修の検討・実施
- ② 指導者用のガイドライン策定の検討

取組 3 希望する教員の兼職兼業制度の導入

- ① 兼職兼業制度の導入に向けた整備



まず、重点戦略1の取組として、

取組 1 いたばし地域クラブの本格実施

現在、モデル事業として実施していますが、本格実施とし、地域移行の課題を着実に把握・検討しつつ、中学生の活動の受皿となります。

学校部活動にある種目・分野の新たな個別クラブの設置などに取り組んでまいります。

取組 2 指導者人材の発掘と確保

種目・分野によっては人材の確保が難しく、人材発掘・確保の仕組みが求められます。

また、中学生への適正な指導を担保するため、研修等の実施を検討してまいります。

取組 3 希望する教員の兼職兼業制度の導入

部活動指導を希望する教員が、地域クラブ活動に参加できるよう制度の整備を行います。

以上が、重点戦略1となります。

地域連携の活用

取組 1 部活動を支援する外部人材活用

- ① 部活動指導員の活用・効果検証
- ② 部活動指導補助員の活用

取組 2 学校現場の意識改革

- ① 学校部活動現場視察
- ② 学校部活動顧問との意見交換の実施

取組 3 合同部活動の促進

- ① 合同部活動の調整



続きまして、重点戦略 2 地域連携の活用です。

取組 1 部活動を支援する外部人材活用

現在区内に 3 名の部活動指導員がいますが、技術指導のほかに大会引率など、今までは教員しかできなかった業務も担当しています。

来年度、増員に向けて調整を進めているところです。

取組 2 学校現場の意識改革

学校の部活動現場を視察し、顧問の先生と意見交換を行うなど、部活動改革の機運醸成を図ってまいります。

取組 3 合同部活動の促進

単一校では存続が難しい種目はもちろん、複数校で部活動を行った方が活動の幅が広がる場合にも合同部活動化を図ってまいります。

以上が、重点戦略 2 となります。

地域展開の環境整備

取組 1 部活動地域移行シンポジウムの開催

- ① 部活動地域移行シンポジウムの開催

取組 2 デジタルガイドブックの発行

- ① デジタルガイドブックの発行

取組 3 受皿となる団体の認証制度の検討

- ① 認証制度の検討



次に、重点戦略3 地域展開の環境整備です。

民間の地域クラブということで区が実際に運営するわけではありませんが、中学生を受け入れてもらうための環境整備、また中学生が安心して参加できるような取組を進めてまいります。

取組 1 部活動地域移行シンポジウムの開催

関係者との対話の場とし、相互の理解を深めてまいります。

取組 2 デジタルガイドブックの発行

中学生が参加できる民間のスポーツ、文化芸術活動等を紹介していければと考えております。

取組 3 受皿となる団体の認証制度の検討

中学生が安心して参加できるよう、また、保護者の皆様が安心して送り出せるように、適切な指導や運営の基準を定めて、団体の登録・認証をする制度の検討を進めます。基準等を定めるには時間を要するかもしれませんが、検討を進めていきます。

以上が、重点戦略3となります。

共通項目

取組1 国・東京都への働きかけ

- ① 国・東京都への要望書等の提出による働きかけ

取組2 地域人材を活用した地域移行への枠組みの検討

- ① 地域人材を活用した地域移行への枠組みの検討



最後に、共通項目です。

取組1 国・東京都への働きかけ

部活動改革にかかる財源の確保は大きな課題です。

一つの自治体では限界があるため、国や都へ財政的支援等について働きかけを行ってまいります。

取組2 地域人材を活用した 地域移行への枠組みの検討

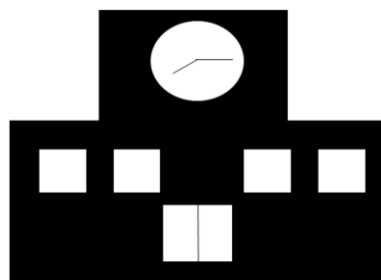
区内で活動する地域人材と中学生とが、地域のスポーツ活動・文化芸術活動をともに行うことが出来るよう、部活動の地域移行及び将来的な地域展開のための枠組みを検討してまいります。

以上が、共通項目となります。

部活動改革についての説明は以上となります。

時間の関係もあり、ポイントを絞って説明させていただきました。

「板橋区立中学校部活動 地域移行推進ビジョン2030」



ただいま説明した内容は、現在作成している「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」に記載されている内容となっております。

本日、ご参加いただきました皆様におかれましては、来年度にも中学校の部活動がどんどんなくなっていくのではないかと心配があったかと思います。学校部活動の地域移行は、学校部活動として確立されてきた様々な制度や仕組みを根本的に見直し、作り直していかなければならない大きな改革となります。

この部活動改革を推進していくには、課題も山積しており、その課題等を解決していくためには、相当な時間を要する改革になることが想定されますが、板橋区としましては、学校部活動を地域移行する際は、生徒、教員、保護者、地域の方々等、関係者の声を受け止め、合意形成に努めながら推進していくことを推進方針に掲げ、部活動改革を進めてまいります。



いたばし地域クラブについて



次に、「いたばし地域クラブについて」です。
行政が運営団体となる地域クラブが「いたばし地域クラブ」となります。

いたばし地域クラブの SDGs コンセプト

中学校部活動 × SDGs 持続可能な新しい活動へ



3 すべての人に健康と福祉を	すべての人に健康と福祉を 指導者の安全管理に関する責任は重大です。生徒の健康への配慮がこれまで以上に求められます。	8 働きがいも経済成長も	働きがいも経済成長も 学校部活動は、教員の献身的な支えによって成り立っています。長時間に及ぶ勤務により、学校現場は疲弊し、教員採用試験の倍率にも影響しています。
4 質の高い教育をみんなに	質の高い教育をみんなに 学校部活動では在籍する学校により設置されている部活動が異なるため、進学した中学校によっては取り組めない種目・分野が存在します。	10 人や国の不平等をなくそう	人や国の不平等をなくそう 主にトーナメント方式で行われる運動部活動の大会では、試合に参加できる生徒が制限されてしまいます。
5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を実現しよう 学校部活動では男女別に部活動が設置されていることがあり、性別によっては取り組めない種目・分野があります。	16 平和と公正をすべての人に	平和と公正をすべての人に 3年間という短い期間で結果を出したい指導者や生徒の想いが、不適切な指導・行動につながってしまうことがあります。



板橋区では、単に現行の部活動を地域クラブ活動に置き換えるのではなく、SDGsの視点で部活動が抱える課題を解消・軽減すべくコンセプトを設定し、今年度、実践研究モデル事業としていたばし地域クラブを立ち上げました。

各クラブの画像はイメージです。



-仲間たちとボールを追う楽しみ-

女子サッカークラブ



-ゲームだってスポーツだ-

eスポーツクラブ



-未来をつくるのは君だ-

科学技術クラブ



昨年の5月から、3つの個別クラブが活動を開始しております。

1つ目は、女子サッカークラブです。

区立中学校に女子サッカー部がないため、活動機会をもしかすると失っていた生徒に活動の機会を提供したいという思いから、モデル事業として掲げました。

2つ目は、eスポーツクラブです。

高性能のパソコンを使用して、現在世界中で脚光を浴びているeスポーツを経験する機会がないことから、こちらモデル事業として立ち上げました。

3つ目は、科学技術クラブです。

ロボットを動かすのに必要な数学の知識を学ぶクラブで、みんな楽しみながら最先端の技術に触れる機会をつくるために、モデル事業として立ち上げました。

この3つのクラブを立ち上げ、現在活動中です。

女子サッカークラブ

活動初日の様子



WEリーグカップ観戦



体育館での練習



交流大会に参加



次に、3クラブの現在の活動状況などです。

女子サッカークラブは、様々な年代で指導実績のあるコーチ、元なでしこリーグ選手のコーチとともに楽しく活動しています。

最近の活動では、コーチの伝手で、女子プロサッカーリーグで活躍する現役のプロ選手にも参加いただいたイベントを開催したり、実際にプロの試合を観戦したり、交流大会にも出場したりと貴重な経験を積んでいっております。

さらには、このクラブでサッカーを始めた生徒もいますが、どんどん技術面でも上達しています。

eスポーツクラブ

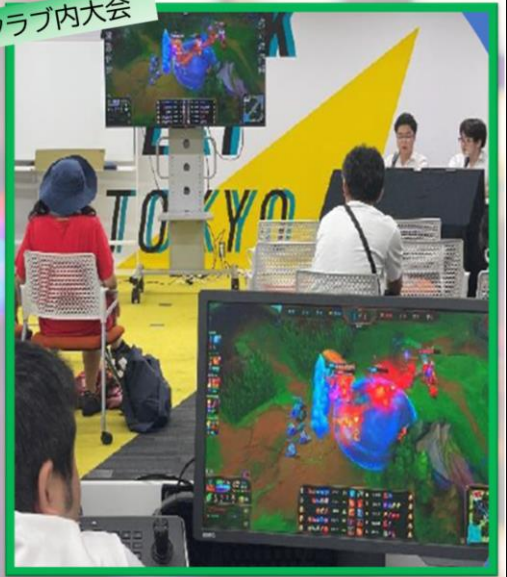
活動の様子



活動の様子



クラブ内大会



eスポーツクラブは、区内にキャンパスを構えるクラーク国際記念高校で実施しています。

今年度は「リーグオブレジェンド」という5人1チームで対戦するタイトルに取り組んでいます。こちらも、元プロの講師のもと、チームでたくさんコミュニケーションをとり、楽しみながら取り組んでいます。クラブ内大会では、クラーク高校のeスポーツコースで大会運営などの勉強をした高校生が企画・運営をしてくれました。普段の活動内でも、高校生が自主的に参加してくれており、中学生にアドバイスをしてくれています。

科学技術クラブ

活動の様子



活動の様子



企業訪問

科学技術クラブは、ロボット実習に向けて、ロボットを動かすために必要な数学を勉強しています。

対面の授業では数学の要素があるゲームも行い、楽しく取り組んでおり、オンラインの授業でも積極的に発言するようになってきました。

先日行われたロボット実習でも楽しそうに、ロボットを動かしていました。

今年度、いたばし地域クラブを運営していく中で得られた知見やデータ、課題をフィードバックし、来年度以降の新しい活動の企画・立案に役立ててまいります。

小学6年生対象

いたばし地域クラブ体験会を開催します！

女子サッカー

令和6年2月4日
(日曜)

9:30~11:30

旧上板橋第二中学校



eスポーツ

令和6年2月14日
令和6年2月21日
(水曜)

16:00~17:30

クラーク記念国際
高等学校

CLARK NEXT Tokyo



科学技術

令和6年2月24日
(土曜)

13:00~14:30

赤塚第二中学校



最後に、来年度に向けて、小学6年生を対象にいたばし地域クラブの1日体験会を開催いたします。

2月にそれぞれご覧の日程で、開催いたします。持ち物など詳細は、ホームページをご覧ください。

それぞれ定員があり、先着順となります。2月23日火曜日の午前9時より申込を開始いたしますので、参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。

質 疑 ・ 応 答



本日お伝えさせていただく内容は、以上となります。
お時間をいただきまして、ありがとうございました。

【質疑応答】

質疑応答につきましては、別のファイルで後日取りまとめて公開いたします。

以上で「部活動地域移行に関する説明会」を終了とさせていただきます。

ありがとうございました。